

■ 計画の基本理念

街にうるおいや安らぎを与え、地球環境にとって大切なみどりを、わたしたち自身が守り育て、次世代へつないでいく

●
実現しようみんなの手で
人とみどりが輝くさっぽろ

札幌市が毎年実施している郷土意識に関する市民意識調査によると、「札幌の街が好き」という市民は9割を超え、その理由としては「緑が多く自然豊か」が上位となっており、豊かなみどりは街にうるおいや安らぎを与えてくれるほか、市民の誇りでもあります。

札幌市では、市政の重要課題として、地球環境問題への取り組みを進めており、世界に誇れる環境都市として豊かな自然と調和したまちづくりを目指し、私たちの貴重なみどりを守り・育てていくとともに、未来の札幌を担う子どもたちに引き継いでいきます。

このようなまちづくりを進めていくために、「実現しようみんなの手で 人とみどりが輝くさっぽろ」をみどりの基本計画の理念として継承します。

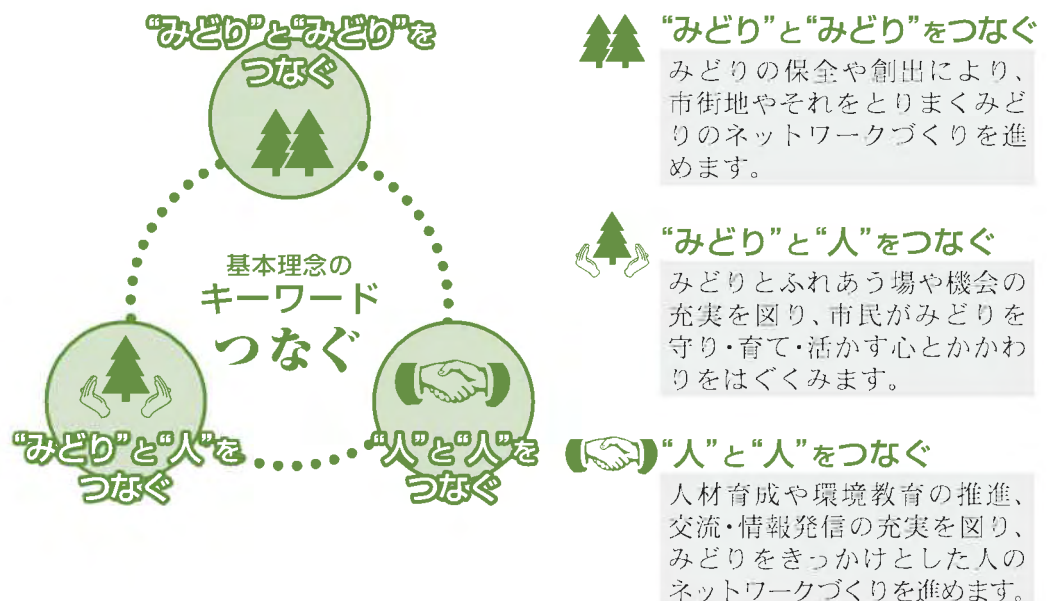
この計画の推進に際しては、人とみどりのさまざまなつながりをつむいでいくことが大切と考え、新たに『つなぐ』をキーワードとし、私たち市民の協働によりみどり豊かな札幌のまちをはぐくんでいきます。

※協働

多様な活動団体や組織が、同じ目標を共有し、それぞれの特性を活かし、対等の立場で協力し共に活動すること。

※ネットワーク

あるものを構成している要素のつながり。または連結されている状態。



<参考>「つなぐ」のイメージ

🌲 “みどり”と“みどり”をつなぐ



豊平川



大通公園



身近なみどり

- 札幌の骨格となるみどりづくり
- 私たちの身近なみどりづくり
- 地域をつなぐ特徴あるみどりづくり

🌱 “みどり”と“人”をつなぐ



スズランの保全活動



フラワーロードづくり



コミュニティガーデンづくり

- みどりとふれあう場・機会・協働の場の充実
- 自主的な活動の推進

🤝 “人”と“人”をつなぐ



公園での交流イベント



人材の育成



交流拠点での活動

- 人材育成・環境教育の推進
- 交流・情報ネットワークの充実

●基本理念を支えるみどりに関する協働の考え方

「人とみどりが輝くさっぽろ」は、私たち札幌市民一人ひとりが主役となり協働でみどりのまちづくり活動に取り組むことで、はじめて実現するものです。

私たちそれぞれが、みどりづくりの取組みを進めていくとともに、さまざまな協働によりその活動をつなぎ、みどりづくりの人の環(わ)を広げていきます。

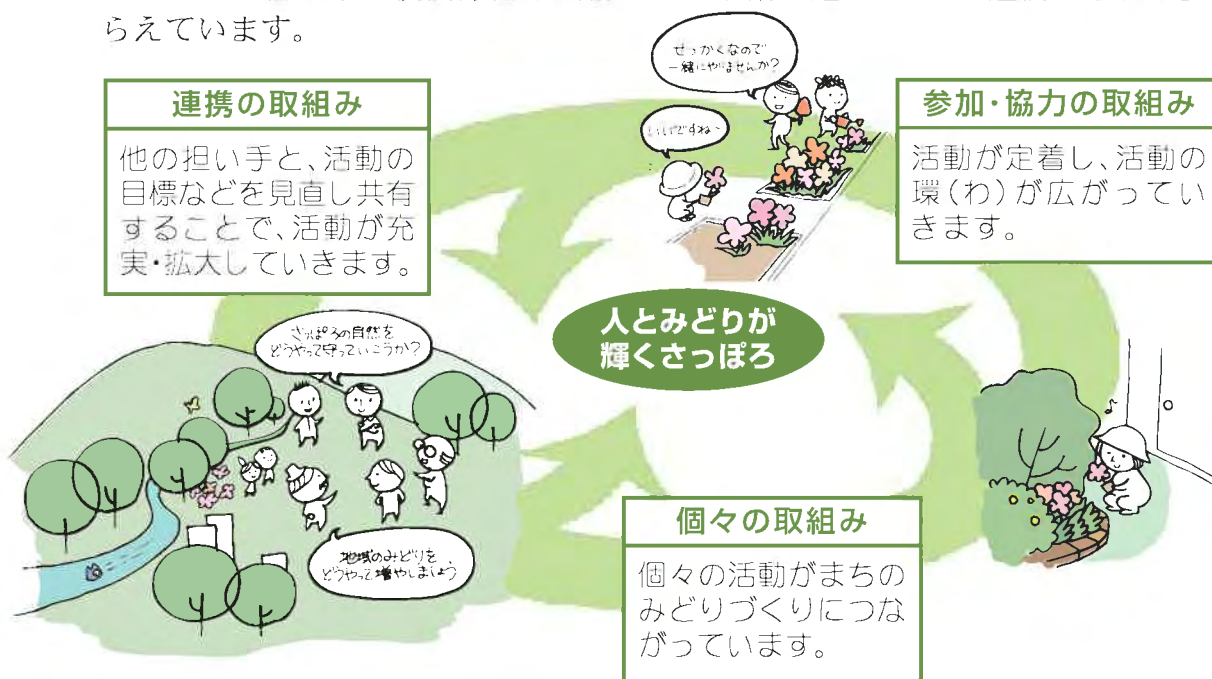
◆協働の担い手

この計画では、協働の担い手として、「市民」、町内会やNPOなどの「活動団体」、「企業」、「大学など専門機関」、「行政」の5つに整理しています。

◆協働のあり方

みどりに関する協働のあり方はさまざまであり、この計画では、

- * まちのみどりづくりに向けたそれぞれの活動に取り組んでいる「個々の取組み」
- * 他の担い手とのコミュニケーションを図りながら、お互いに活動への参加・協力を進めている「参加・協力の取組み」
- * それぞれの担い手が役割分担や責任のもと活動を進めている「連携の取組み」の3つにとらえています。



【みどりに関する協働に際しての行政のかかわり方】

- * 協働の担い手に応じて、活動や情報発信を効果的に支援していきます。
- * それぞれの活動や担い手のネットワークづくりを進めるほか、「連携の取組み」を進め、市民の方々の経験や知識を活かした、協働による札幌のみどりづくりに取り組んでいきます。
- * 行政が主体となって行う計画・事業・評価・改善を、他の担い手の参加を得て、連携を形成する中で行い、協働の取組みの先導役となります。

■みどりの将来像

札幌市では、基本理念である「実現しようみんなの手で 人とみどりが輝くさっぽろ」を受けて以下の4つを、目指すべきみどりの将来像とします。

●私たちが守り・はぐくむみどり

私たちの生活において欠かすことのできないみどりを、一人ひとりが楽しみ協力しながら守り育てていくことを目指します。



●私たちの歴史と文化が薫る個性豊かなみどり

みどりに囲まれた暮らしの空間のなかで、みどりを楽しむ生活文化をはぐくむとともに、歴史や文化を生かした個性ある地域のみどりを守り育て、ゆとりと安らぎのあるみどり豊かな地域づくりを目指します。



●地球環境を守り、私たちと自然が身近に共生するみどり

私たちの生活にうるおいと安らぎをもたらす山並みや緑地・農地のほか、河川などの身近なみどりを守り育てていくことで、地球環境や生物の多様性が保全される自然環境の連続化を目指します。



●私たち誰もが安心して活用できる人に優しいみどり

誰もが活用できる人に優しい、ユニバーサルデザインによる公園緑地づくりの定着を目指します。

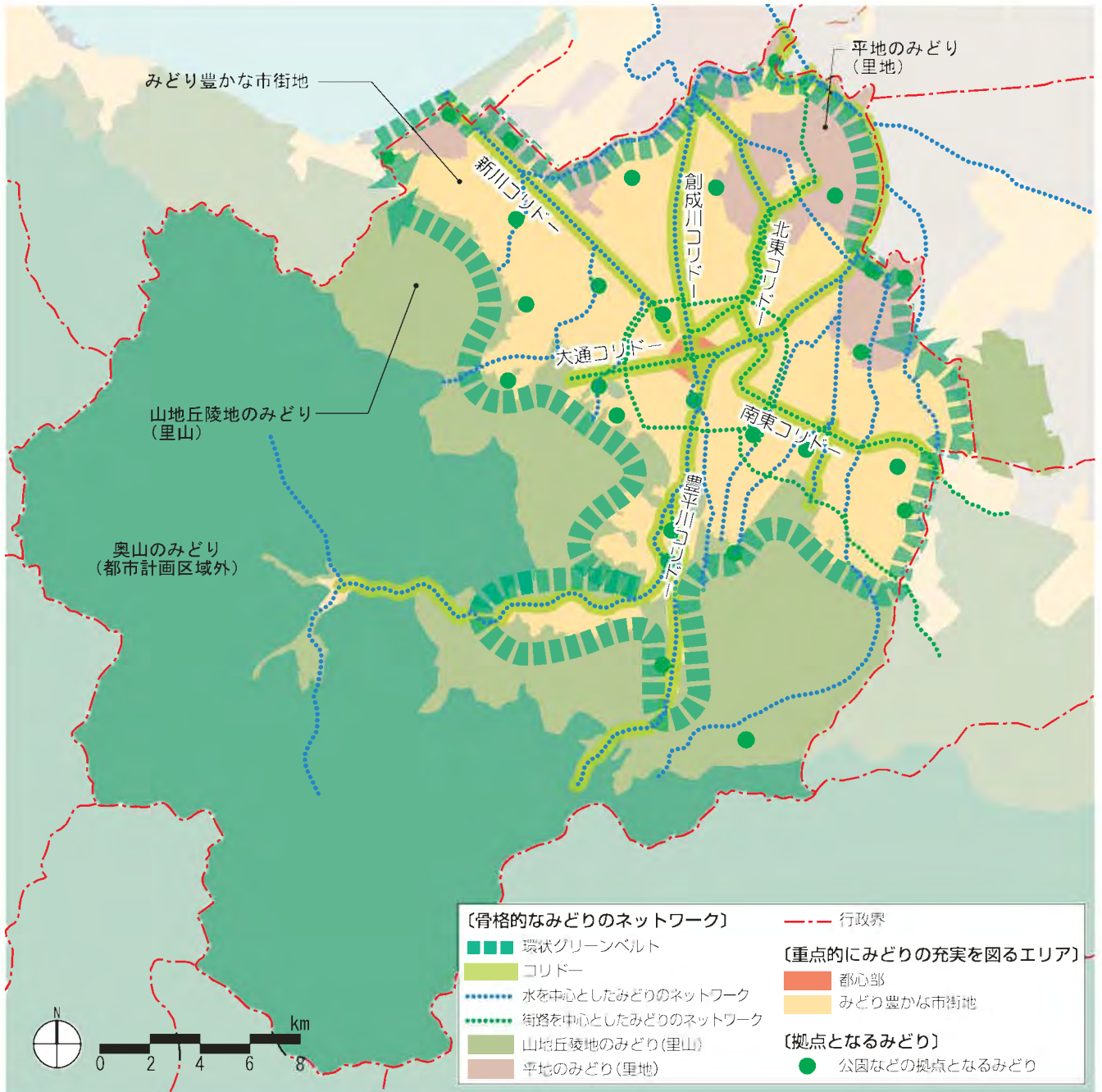


※ユニバーサルデザイン

高齢者や障がい者のための特別な仕様をつくるのではなく、最初から多くの人の多様なニーズを反映してつくられた製品、建物、環境のデザイン。

■ みどりの将来像図

みどりの将来像の実現に向けたみどりの配置の考え方



※奥山

山岳地帯として自然が豊かであり、土地の位置、形状その他の土地の状況からみて自然環境を保全すべき地域で、都市計画区域外に位置する。(国有林が大部分を占める)

※里山

市街地の周辺にあって、みどりが比較的豊かであり、みどりを保全・創出しながら、市街地の周辺にふさわしい土地の活用を図る山地丘陵地で、市街化調整区域に位置する。

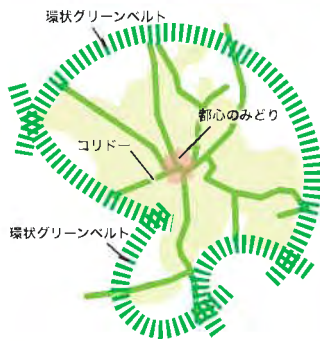
※里地

市街地の周辺にあって、みどりが比較的豊かであり、みどりを保全・創出しながら、市街地の周辺にふさわしい土地の活用を図る平地で、市街化調整区域に位置する。

「みどりとみどりをつなぐ」段階的な考え方

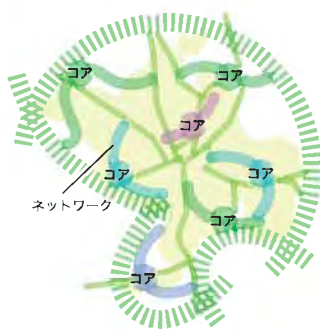
札幌の骨格のみどり

環状グリーンベルト、コリドー、都心部のみどりづくりを進め、札幌の骨格となるみどりづくりを行います。



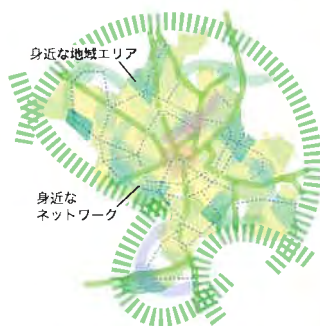
地域を越えた特徴あるみどり

水を中心としたネットワーク、街路を中心としたネットワーク、公園などの拠点(活動の中心となる場=コア)となるみどりづくりを進め、地域を越えた特徴あるみどりづくりを行います。

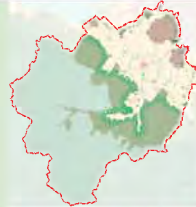


私たちの身近なみどり

地域の状況に応じたみどり豊かな市街地づくりを進め、私たちの身近なみどりづくりを行います。



環状グリーンベルト



札幌らしい山並みや農地・草地などが保全され、市街地周辺のみどりのネットワークづくりが推進されます。二酸化炭素の削減や大気浄化といった環境保全や、多様な生物の生息空間が確保されます。

コリドー



主要な道路や河川のみどりが保全・創出・連続化され、特色あるみどりの軸がつくられるとともに、多様な生物の移動空間が確保されます。

都心部



都心部の各種プロジェクトにおいて、みどりが保全・創出され、札幌の顔にふさわしいみどり豊かな景観が形成されます。

水を中心としたネットワーク



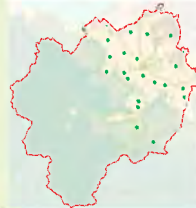
河川とその周辺のみどりがネットワーク化され、水とみどりの景観軸がつくられるとともに、生物の移動空間が確保されます。

街路を中心としたネットワーク



街路樹が適正に配置・育成されるとともに、花を活用した美しく快適な歩行空間をつくることで、札幌の軸となる道路景観が形成されます。

公園などの拠点となるみどり



拠点となる公園と重要な公共施設のみどりづくりを進めることで、特色ある景観がつけられるとともに、防災機能の充実が図られます。

みどり豊かな市街地



緑化重点地区のほか、それぞれの地域で、特徴あるみどりづくりが進められ、地域の歴史や文化が薫る市街地景観が形成されます。

■みどりの将来像の実現に向けた目標

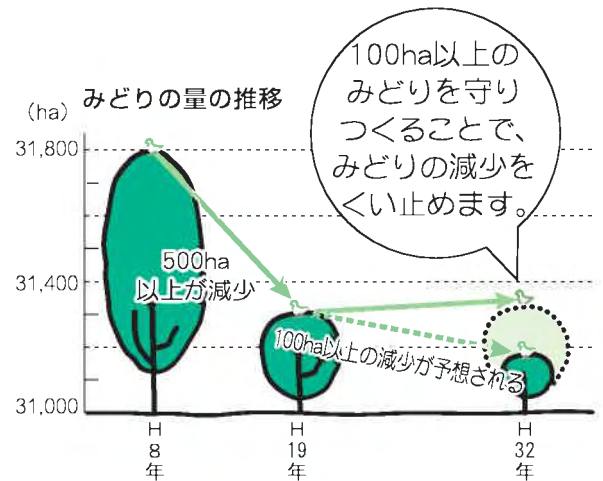
札幌市が目指すみどりの将来像を実現するため、全体としてのみどりの量の目標(総量目標)を定めるとともに、4つの将来像においては、それぞれ面積や箇所などの量的な目標値に加え、市民の満足度などの質的な目標値を定めて計画を進めていきます。

●総量目標

～新たに多様なみどりを創出します～

この10年間で、開発などにより500ha以上のみどりが減少しています。また、これからの10年間で100ha以上(札幌ドーム野球グラウンド約70面分)のみどりが失われると予想されます。

そこで、新たな計画では、市民・企業・行政など、みんなで今あるみどりを守り、家庭の庭やコミュニティガーデンなどの協働によるみどりづくりや公園の造成により、身近な暮らしの中に、新たに多様なみどりを創出します。



総量目標	現況値	目標値(H32)
○みどりの量 ※	31,225ha	現況値以上

※みどりの量は、都市計画区域の樹林地、草地、農地、水面の合計面積で、現況値についてはP126を参照

●みどりの将来像「私たちが守り・はぐくむみどり」に向けた目標

市民・活動団体・企業など、より多くの人がみどりの活動にかかわっていくことを目指し、「みどりづくりなどに参加した市民の割合」を目標に定めるとともに、その活動が充実して継続されることを目指し、「みどりづくりなどに今後も参加したいと思っている市民の割合」を目標に定めます。

目標	現況値	目標値(H32)
○みどりづくりなどに参加した市民の割合	39.0% ※	3割増(50%)
○みどりづくりなどに参加し、今後も参加したいと思っている市民の割合	78.9% ※	現況値以上

※現況値は市民アンケートによる数値で、P136を参照

●みどりの将来像「私たちの歴史と文化が薫る個性豊かなみどり」に向けた目標

札幌市では、「都心まちづくり計画」によってさっぼろの顔である都心の魅力づくりに取り組んでいることから、みどりの基本計画における街中のみどりの創出についても、都心部での取り組みを喫緊の課題としています。このため、「都心部樹林率」を目標に定めるとともに、都心部の景観の向上を目指し「都心部がみどり豊かであると感じている市民の割合」を目標に定めます。

目標	現況値	目標値(H32)
○都心部樹林率	8.9% ※1	1割増(10%)
○都心部がみどり豊かであると感じている市民の割合	68.7% ※2	1割増(75%)

※1 現況値はP129を参照 ※2 現況値は市民アンケートによる数値で、P134を参照

●みどりの将来像「地球環境を守り、私たちと自然が身近に共生するみどり」に向けた目標

市街地や街をとりまくみどりを守り、未来の札幌を担う子どもたちにつなげていくことを目指し、「保全されているみどりの面積」を目標に定めるとともに、市民などの森林の育成管理や自然とのふれあいイベントが充実して継続されることを目指し、「森林の保全活動に参加した市民の割合」を目標に定めます。

(保全されているみどりの面積とは、都市公園、都市環境林、市民の森、地域のみどり、公共施設のみどりのほか、法律や条例などによって守られているみどりを指します。)

目標	現況値	目標値(H32)
○保全されているみどりの面積	21,330ha	370ha増(21,700ha)
○森林の保全活動に参加した市民の割合	4.0% ※	2倍(8%)

※現況値は市民アンケートによる数値で、P137を参照

●みどりの将来像「私たち誰もが安心して活用できる人に優しいみどり」に向けた目標

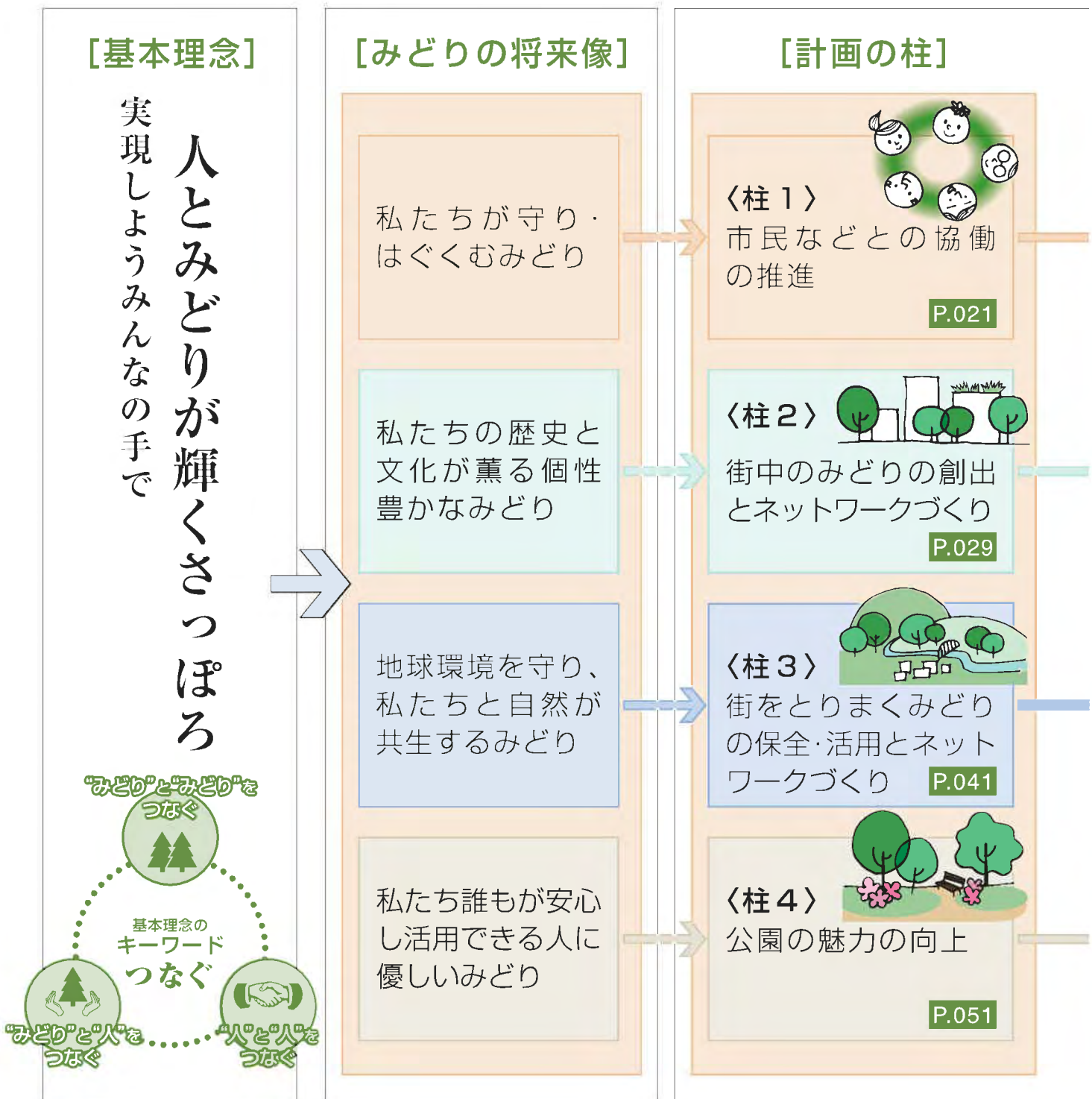
市民にとって身近なみどりである公園について、さまざまな役割を効果的に発揮し、市民が安心して安全に活用していくための機能の充実を目指し、「公園機能の見直しを凶った公園の数」を目標に定めるとともに、公園の環境保全、景観創出、活動の拠点などの機能に対する市民の満足度の向上を目指し、「身近な公園に対する市民の満足度」を目標に定めます。

目標	現況値	目標値(H32)
○公園機能の見直しを凶った公園の数	305か所	400か所増(705か所)
○身近な公園に対する市民の満足度	58.9% ※	1割増(65%)

※現況値は市民アンケートによる数値で、P135を参照

■ 計画の体系

みどりの基本計画における計画体系を以下のように定めます。



[推進プログラム]

- ① みどりにかかわる人の環(わ)をはぐくみます
- ② 市民に生きる活かされる取組みを進めます
- ③ 190万市民の知識と経験を活かします

- ④ みどりの回廊づくりを進めます
- ⑤ 都心のみどりを充実します
- ⑥ 地域らしい身近なみどりを創り・守り・はぐくみます

- ⑦ みどりの保全や創出による環状グリーンベルトづくりを進めます
- ⑧ 身近な森の活用を進めます
- ⑨ 地球環境や生物多様性に配慮したみどりの保全と創出を進めます

- ⑩ 安全安心と地域コミュニティをはぐくむ公園の管理・運営を進めます
- ⑪ 人・まち・環境に役立つ公園の機能を充実します
- ⑫ 市民ニーズを踏まえた利活用の促進を図ります

施策の方向性

計画の進行管理

協働による取組みの指針(活動事例をもとに)

※計画の推進にあたり、市民などとの協働はさまざまな施策に関連することから、全体を  で包み込んでいます。

